

研修会内容(令和2年度)

参加者数
43団体 81名



○プログラム

開催場所：常葉大学（静岡県）

— 8月6日（木）ZOOMによるオンライン会議 —

●会員研修 13:40～16:35

【講演】講演①「令和元年台風15号、19号、10月25日大雨災害の
住家被害認定調査について」

千葉県君津市財政部課税課 係長 川崎 健太 氏

講演②「令和元年台風第19号による対口支援について」

奈良県総務部知事公室防災統括室 係長 植田 徳満 氏

講演③「東日本大震災から10年に向けた取り組み」

宮城県仙台市まちづくり政策局防災環境都市・震災復興室

主任 柳谷 理紗 氏

【質疑応答】

コーディネーター：常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡 氏



開会のあいさつをする
ネットワークおぢや丸山会長

●総会 16:40～17:10

会員研修



講演①

令和元年台風15号、19号、10月25日大雨災害の 住家の被害認定調査について

千葉県君津市財政部課税課 係長 川崎 健太 氏

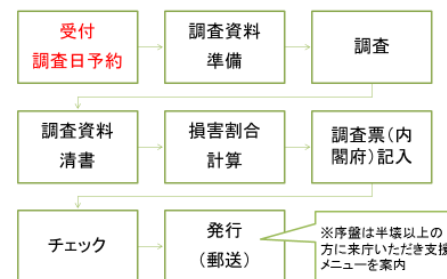
令和元年台風15号、19号、10月25日の大雨は、君津市内各所で家屋等の損壊、電柱の倒壊等による長期停電、停電に伴う断水など、これまでに経験したことのない甚大な被害をもたらしました。

君津市は、過去に大きな災害を経験したことがなく、り災証明事務についてノウハウがありませんでした。

そうしたなか、災害対応経験のある団体や有識者からの助言をいただき、内閣府の災害に係る住家の被害認定基準運用指針や手引きを基に、限られた職員の中で日々試行錯誤して被害認定調査を実施し、り災証明発行業務を遂行することが出来た経緯についてお話しいただきました。



り災証明発行体制（事務フロー）



講演②

令和元年台風第19号による対口支援について

奈良県総務部知事公室防災統括室 係長 植田 徳満 氏

令和元年台風第19号により、関東甲信地方と東北地方に甚大な被害がでたことを受け、関西広域連合によるカウンターパート方式での派遣や総務省の被災市区町村応援職員確保システムによる対口支援を実施しました。

そこで、派遣職員として協力した奈良県職員
の業務と流れについてお話いただきました。



栃木県及び佐野市への派遣

<県職員の派遣>

派遣期間：令和元年10月24日～11月13日（関西広域連合のカウンターパートを含む）
派遣場所：栃木県庁及び佐野市役所
派遣者：防災統括室8名、消防救急課1名 計9名
業務内容：情報収集等

<市町村職員の派遣>

派遣期間：令和元年10月28日～11月12日
派遣場所：佐野市役所及び佐野市内被災住宅
派遣者：奈良県内9市町 各2名 計18名
（大和郡山市、橿原市、桜井市、御所市、生駒市、葛城市、宇陀市、三郷町、斑鳩町）
業務内容：住家被害認定調査

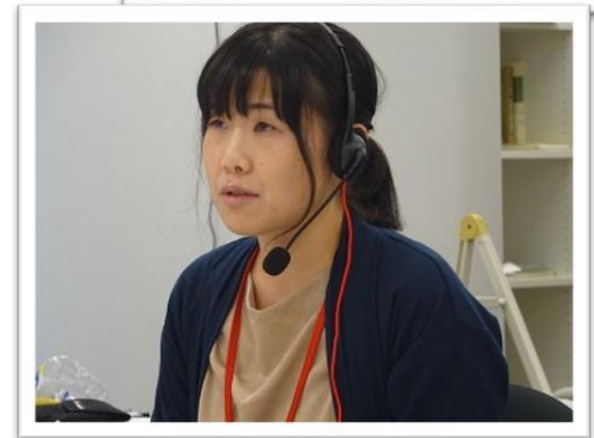
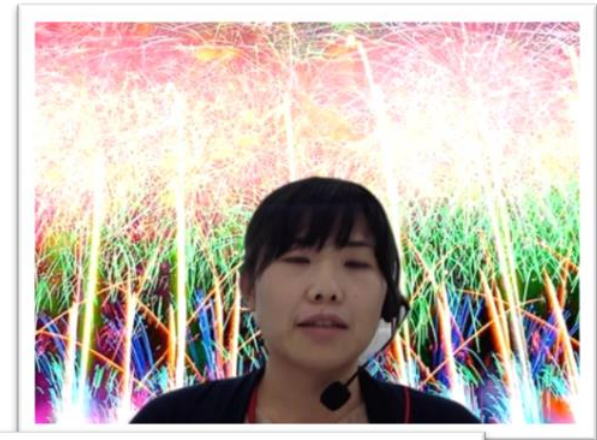
講演③

東日本大震災から10年に向けた取り組みについて

宮城県仙台市まちづくり政策局防災環境都市・震災復興室 主任 柳谷 理紗 氏

仙台市の東日本大震災からの復興復旧事業の内容についてご説明いただきました。

また、講師自身が携わってきたメモリアル事業のひとつであるエスノグラフィーという、一人ひとりの職員の記憶をヒアリングにより記録として残し、当時の職員の経験をどう次に継承していくかの取り組みについてご紹介いただきました。



会員研修

【質疑応答】



ZOOM状況



コーディネーターの常葉大学大学院
環境防災研究科教授 田中 聡 氏



燕市



十日町市



富士宮市



狛江市



秦野市



研修会閉会のあいさつをする
ネットワークおぢや 大塚副会長
(新潟県小千谷市長)



閉会のあいさつをする
ネットワークおぢや 重川副会長
(常葉大学大学院環境防災研究科 教授)

研修会参加者の感想

被害にあわれた自治体様の貴重な経験談をお伺いすることができ、非常に参考になりました。

講演テーマに興味深いものが多かったため、今後の業務の参考にしていきたいと思います。

今回研修を受けました2名は今年度から防災関係課の所属となり、講演の内容が基本的なものから取り上げていただいたので、有意義な研修となりました。

コロナ蔓延予防の観点でオンライン研修となりましたが、この研修も有意義であると感じました。